

# 日商簿記 2 級講座

## 工業簿記編

第三版



企画・制作 簿記塾オッジ

〒 862-0924 熊本市中央区帯山 5-18-12

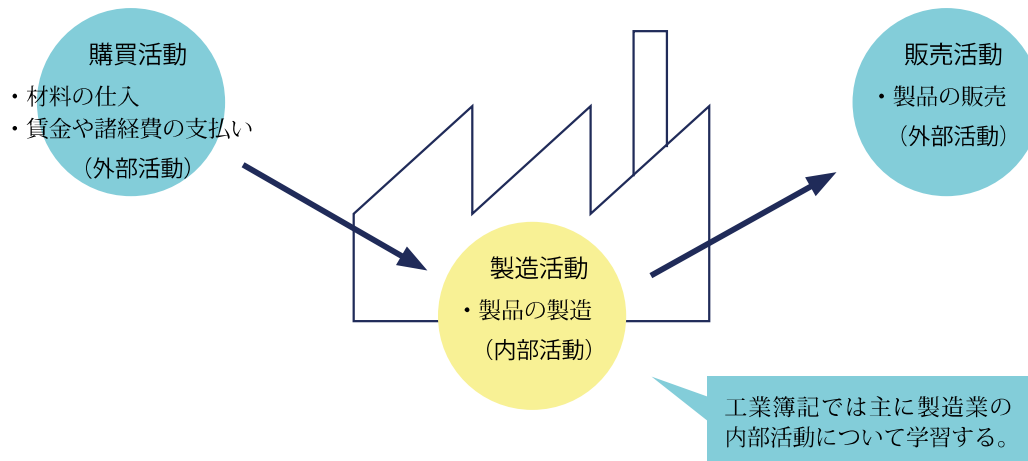
電話 096(382)1228

<http://www.bokijuku.com>

本書の無断複製・無断転載は禁止いたします。本書を使用して  
講義・セミナー等を実施する場合には、弊塾宛承諾を求めてく  
ださい。

## 第1章 工業簿記とは

### 1-1 製造業の主な営業活動



### 1-2 工業簿記と原価計算

◎ 工業簿記 … 簿記的手法を用いて製造業の取引を記録・計算・整理する技術。

◎ 原価計算 … 工業簿記に必要な数値を計算する手続き。

※製造業における活動の記録（工業簿記）と計算（原価計算）

### 1-3 原価と原価要素の分類

製品の製造に要する費用を製造原価<sup>せいぞうげんか</sup>といい、これに販売費及び一般管理費を加えたものを総原価<sup>そうげんか</sup>という。  
なお、次のような非原価項目は原価計算に含めてはならない。

(1) 生産や販売、一般管理活動などの経営目的に関連しない損費

例えば……

- ・生産活動に関係のない、または、投資目的や未稼働（または休止）の資産に対する減価償却費や管理費など。
- ・寄付金などの経営目的に関連しない支出。
- ・支払利息や有価証券評価損（売却損）などの製造活動とは関係ない財務費用。

(2) 異常な状態または原因に基づく損費

例えば……

- ・災害損失や異常な原因に基づく仕損（減損）、異常な棚卸減耗費など。
- ・固定資産売却損や固定資産除却損。

(3) 費用性のない税金や利益処分項目

例えば……

- ・法人税や所得税、株主配当のような利益処分項目。

◎ 原価要素の分類

原価計算では、原価を主に次のように分類した上で計算を行う。

(1) 発生形態による分類

- ・材料費 … 物品の消費額
- ・労務費 … 労働力の消費額
- ・経 費 … 材料費と労務費以外の原価要素

(2) 特定製品との関連による分類

- ・直接費 … その消費額が特定の製品と関連付けて把握できるもの  
直接材料費，直接労務費，直接経費
- ・間接費 … その消費額が特定の製品と関連付けて把握できないもの  
間接材料費，間接労務費，間接経費

(3) 原価の集計される範囲による分類

|            |           |         |  |       |         |  |
|------------|-----------|---------|--|-------|---------|--|
|            |           |         |  | 利 益   | 販 売 価 格 |  |
|            |           |         |  | 総 原 価 |         |  |
| 販売費及び一般管理費 |           |         |  |       |         |  |
| 間接材料費      | 製造<br>間接費 | 製 造 原 価 |  |       |         |  |
| 間接労務費      |           |         |  |       |         |  |
| 間 接 経 費    |           |         |  |       |         |  |
| 直接材料費      | 製 造 直 接 費 |         |  |       |         |  |
| 直接労務費      |           |         |  |       |         |  |
| 直 接 経 費    |           |         |  |       |         |  |

原価計算で“原価”という場合は、主に製造原価のことを指す。

※原価計算では上記のように各原価要素を累積させながら計算を行うが、これを集計表形式で表したのが下記の<sup>げんがけいさんひょう</sup>原価計算表である。

原 価 計 算 表

(単位：円)

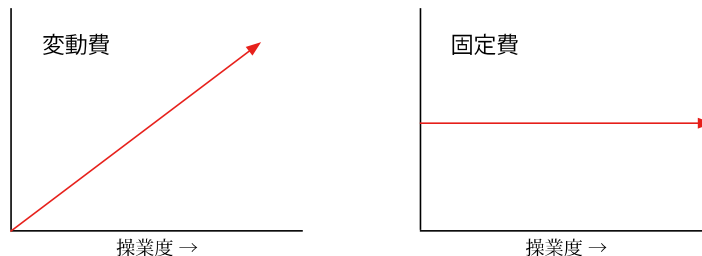
| 摘 要     | #101    | #102    | #103    | 合 計       |
|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 直接材料費   | 120,000 | 70,000  | 180,000 | 370,000   |
| 直接労務費   | 100,000 | 200,000 | 150,000 | 450,000   |
| 直 接 経 費 | 50,000  | —       | —       | 50,000    |
| 製造間接費   | 80,000  | 160,000 | 120,000 | 360,000   |
| 合 計     | 350,000 | 430,000 | 450,000 | 1,230,000 |

※ #101 などの数字は製造指図書<sup>せいぞうさしずしょ</sup>（製造命令書ともいう）のナンバー（後述）。

## (4) 操業度との関連による分類

- ・変動費 … その消費額が操業度に比例して消費額が増減する原価要素  
直接材料費, 直接賃金 など
- ・固定費 … その消費額が操業度に関係なく、一定の額しか発生しない原価要素  
機械設備の減価償却費, 工場の家賃 など

※操業度とは機械設備などの利用割合のこと。生産量や作業時間などを用いるケースが多い。



## 1-4 原価計算の期間

工業簿記では月次決算を前提に計算が行われる。したがって原価計算の期間は1ヶ月単位となる。

## 1-5 原価計算の種類

## (1) 生産形態の相違による分類

- ・個別原価計算 … 種類の異なった一定数量の製品を製造する受注生産工業に適用する原価計算。
- ・総合原価計算 … 一種または数種類の製品を連続して大量に製造する大量生産工業に適用する原価計算。

## (2) 計算目的による分類

- ・実際原価計算 … 財務諸表作成のため、実際の消費量に基づく原価計算。
- ・予定原価計算 … 予定価格や予定消費量に基づく原価計算で、次の二種類がある。
  - ①見積原価計算：原価の事前集計を目的に、過去の実績等をもとに将来予測を行う原価計算。
  - ②標準原価計算<sup>ひょうじゅんげんかけいさん</sup>：原価管理を目的に、指標となる標準原価と実際原価との差額を算定・分析する原価計算。

## (3) 集計される原価要素による分類

- ・全部原価計算 … 全ての原価要素を計算対象とする原価計算。
- ・直接原価計算（部分原価計算） … ある種の原価だけを計算対象とする原価計算。



原価計算の種類については、現時点で憶える必要はない。  
工業簿記（原価計算）の学習が一通り終わった後で、それまで学習してきた内容の再確認として上記内容を見直してもらう程度で十分である。

第2章 工業簿記の勘定連絡

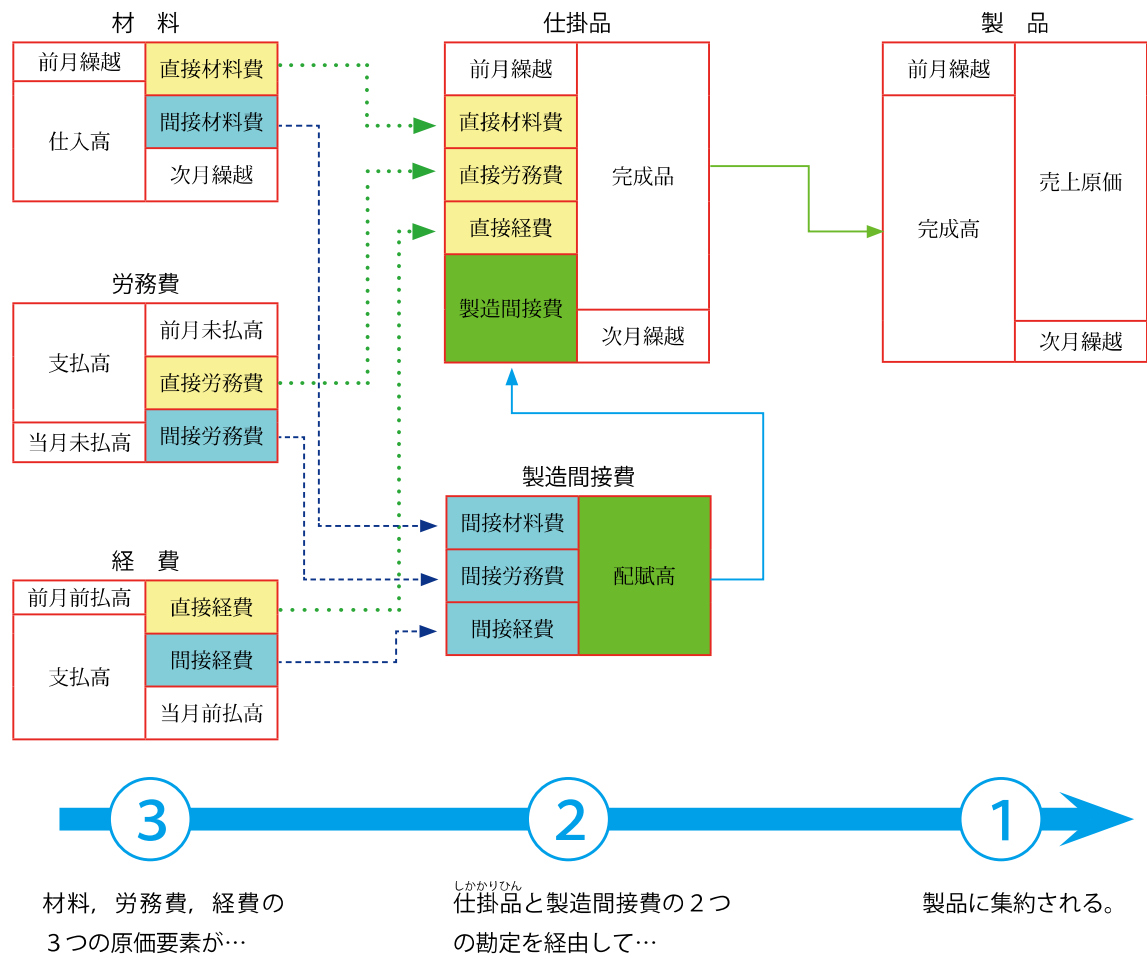
工業簿記特有の勘定連絡をマスターできているかどうか、工業簿記（原価計算）の出来不出来を分けると言っても過言ではない。

今回学習する勘定連絡図を真っ新の紙に何も見ずにゼロから書き出せるくらいに何度も練習して、完全に自分のものにして欲しい。これができるようになれば工業簿記の勉強は半分終わったも同然だ。

2-1 工業簿記の勘定連絡

材料、労務費、経費という原価の三つの原価要素を集計して製品の製造原価を計算することを原価計算と呼び、その過程を簿記的手法である仕訳と勘定記入で記録することを工業簿記と呼ぶ。

原価計算のフローを勘定で表現したものが下記の勘定連絡図だ。



☆ 原価要素を細かく分けるのはなぜ？

上記の勘定連絡図を見ると、材料、労務費、経費のうち、直接費は仕掛品勘定へ、間接費は製造間接費勘定へと分類されて振替えられています。その後、製造間接費勘定に集計された間接費は改めて仕掛品勘定の直接費と合算されます。

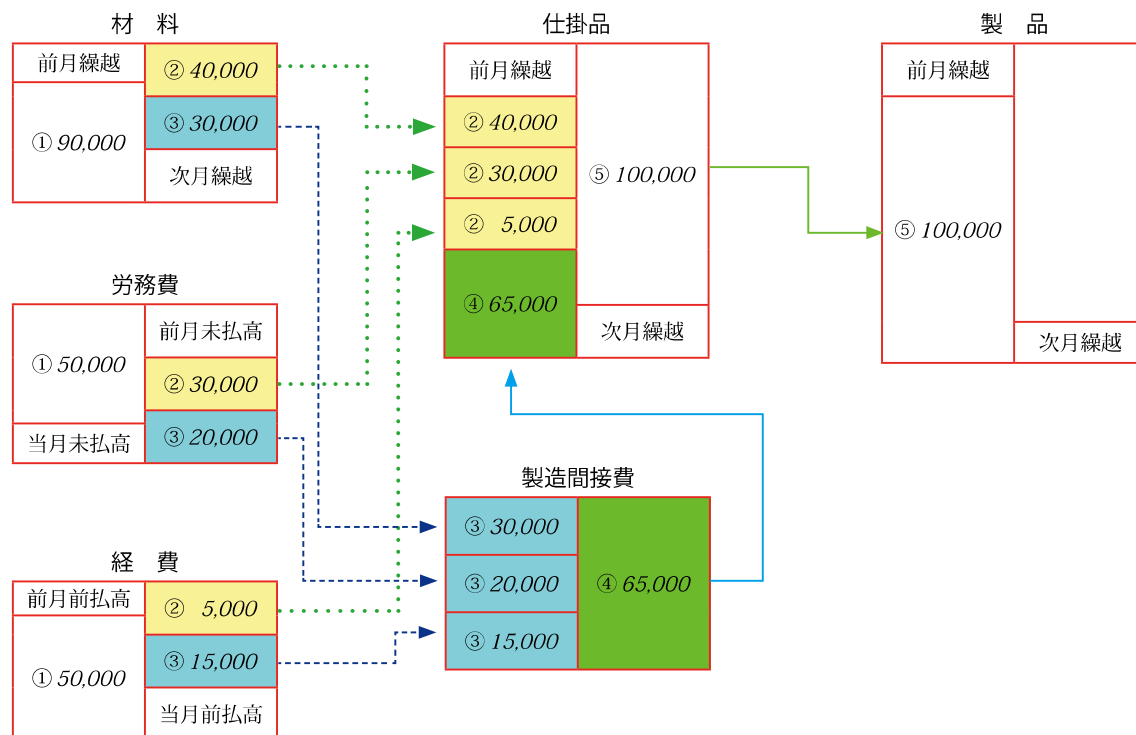
このように直接費と間接費は最終的には合算されるのに、なぜ、わざわざ直接費と間接費に分けて処理するのでしょうか？ どうせ合算するのだったら、最初から両者を分けずに集計しても答えは同じになるはずですが。

実は原価計算の役割には単に製品の製造原価を計算するだけでなく、どこでどのくらいの製造コストが発生しているのかを細かく分析する目的もあります。これを原価管理といいます。

原価計算では原価要素を細かく分類し整理することで原価管理を行い易くしているのです。

学習を進めていくと、製造間接費を更に細かく分類する部門費計算という管理方法も学ぶことになります。

## 2-2 勘定連絡図と仕訳パターン



① 材料 ¥90,000 の購入（掛）と労務費 ¥50,000（現金払い）、経費 ¥50,000（後日支払い）の支払い。

| 借方  |        | 貸方  |        |
|-----|--------|-----|--------|
| 材 料 | 90,000 | 買掛金 | 90,000 |
| 労務費 | 50,000 | 現 金 | 50,000 |
| 経 費 | 50,000 | 未払金 | 50,000 |

②③ 材料、労務費、経費をそれぞれ次のように消費した。

直接材料費 ¥40,000 間接材料費 ¥30,000 直接労務費 ¥30,000 間接労務費 ¥20,000

直接経費 ¥5,000 間接経費 ¥15,000

| 借方    |        | 貸方  |        |
|-------|--------|-----|--------|
| 仕掛品   | 40,000 | 材 料 | 75,000 |
| 製造間接費 | 30,000 |     |        |
| 仕掛品   | 30,000 | 労務費 | 50,000 |
| 製造間接費 | 20,000 |     |        |
| 仕掛品   | 5,000  | 経 費 | 20,000 |
| 製造間接費 | 15,000 |     |        |

④ 製造間接費を仕掛品勘定へ配賦した。

| 借方  |        | 貸方    |        |
|-----|--------|-------|--------|
| 仕掛品 | 65,000 | 製造間接費 | 65,000 |

⑤ 完成品原価 ¥100,000 を製品勘定へ振替えた。

| 借方  |         | 貸方  |         |
|-----|---------|-----|---------|
| 製 品 | 100,000 | 仕掛品 | 100,000 |